

平成 26 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ講座 II 教授
氏名 Name	平田 恵津子
専門分野 Academic Field	ブラジル文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ブラジル文学に見る文化的アイデンティティーに関する研究
<p>昨年度に引き続き、文学史的観点から見たブラジルの文化的アイデンティティーをテーマに研究を進めた。主にロマン主義文学とモダニズム文学の共通点と相違点を検討し、来年度以降、論文としてまとめる準備をした。また、近年逝去したユダヤ系ブラジル人現代作家モアシル・スクリアル (Moacyr Scliar, 1904-2011) の代表的短篇小説 2 篇、「偽メシアのバラード (A balada do falso Messias)」と「老マルクス (O velho Marx)」を訳出し、解説した。(『ブラジル研究』第 11 号, pp.79-96) スクリアルは、その作品をとおして、ブラジル文学、ひいてはブラジル文化のなかに「ユダヤ性」—ユダヤ民族の豊かな歴史、文化、想像力を織り込もうと試みた作家である。多民族国家でありながら、伝統的にヨーロッパ中心主義的価値観に支配されてきたブラジルの中央文壇において、少数派民族の視点から作品を創作し、かつ、その価値を認められた稀有な存在として文学史にその名を刻んでいる。彼の作品では、しばしばユダヤの歴史とブラジルのそれが自在に交差するが、今回訳出した作品でも、カール・マルクスをはじめとする世界の歴史に名を残したユダヤ人たちが時間と空間を超えて、20 世紀初頭のブラジル南部に登場する。ユダヤ系ブラジル人のアイデンティティー問題に正面から取り組んだこれらの作品の底流には、自らの民族的アイデンティティーに折り合いをつけようとする作家の思いが垣間見えることを解説した。</p>	